

報告第 8 号

平成 30 年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告について

平成 30 年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書を別紙のとおり作成したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定により報告する。

令和元年 9 月 4 日提出

里庄町長 加藤 泰久

平成30年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書

令和元年9月

里庄町教育委員会

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）の一部改正により、全ての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければならないことになっております。

本報告書は、地教行法第26条に基づき、平成30年度の点検及び評価を行い、報告するものです。

### 〈参考〉

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検及び評価の方法等

### 1 対象

平成30年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

### 2 報告

令和元年9月4日 議会に提出

### 3 公表

教育委員会事務局での閲覧

町役場の掲示場に掲示及び町ホームページでの公開

## III 点検及び評価

### 1 教育委員会の組織・活動

#### （1）会議の運営等

教育委員会議会は、定例会を毎月1回（平成30年度：計12回）開催し、必要に応じて臨時会（平成30年度：計2回）を開催しました。（※資料1）全員が出席し（臨時第1回・第2回・第3回を除く）十分な時間を掛けて審議及び協議を行い、充実し

た運営となっています。審議を深めるための工夫として、事前に事務局に議案書及び関係資料を提出させるよう努め、まだ十分とはいえませんが、今後も引き続き改善したいと考えています。

町長とは、総合教育会議（8月・2月）や諸行事での会う機会を通じて、「里庄町教育大綱について」「めざす子どもの姿について」「働き方改革の取組」などについて、意見交換や協議、支援の要請などを行い、連携を強化することに努力してまいりました。今後も町当局との連携を図り、一貫した教育行政を進めることが、重要と考えています。教育委員と町長との懇談や意見交換は、両者の円滑な連携と一貫性を図るために重要であると考えており、今後も引き続き実施したいと考えております。

事務局の職員体制については、陣容を増大することはできませんが、学校教育について、学校の指導支援を行う県費派遣の指導主事を継続して配置しています。また、地域と子ども達を結ぶ教育コーディネーターを町費で配置し、学校教育・社会教育の両面にわたり、専門性を高める取り組みを行っております。今後も、事務分掌の見直し等を図りながら、効果的な体制の整備を図る必要があります。

地域の実情に応じた施策及び地域住民の意向を施策に反映することについては、各校の学校評議員会の意見や、学校・園の「現状」を広く地域住民の方々に知っていただくため、「一日学校公開」を実施し、その際に頂いたアンケートや、「教育を考えるつどい」での意見等も参考にし（※資料2）施策に生かすように努めています。学校教育及び社会教育の両面で工夫や努力が今後一層求められるようになっており、今後も鋭意検討を続けたいと考えております。

教育委員の研修は、委員としての識見の向上と、当町の幼児・児童・生徒の学力向上対策や豊かな成長が推進されるよう、先進地の学校訪問等を通して、具体的な取り組みを研修する事を目的に、岡山県市町村教育委員会連絡協議会や県外視察研修を実施しました。（※資料3）

それ以外にも、教育長、指導主事等が定期的に学校や社会教育関係施設の訪問を実施し、現状把握を行ったうえで、業務の見直しや施設の改善を提案しました。

学校（園）の行事や教育委員会主催の行事にも積極的に参加し、実情を理解しました。（※資料4）また、学校の現状把握のために、平成30年5月30日（水）に学校（園）訪問を実施し、各校（園）の抱える課題について教育委員の見解を聴取したうえ、教育委員会の審議及び協議に役立て、可能な限り学校（園）の支援を行いました。

## （2）公開性

教育委員会が、町民にとって身近なものとなるよう、可能な限り情報を公開する方針のもとで、定例会の開催予定を町ホームページに掲載しています。しかし議事内容については、プライバシーや個人情報等で配慮を要する事項も多々あり、今後も慎重に検討しながら進めていきたいと考えております。

町主催の分館長会議に教育長や教育委員会事務局職員らが出席し、町民の方々か

ら教育行政等についての意見や要望等を出していただき、教育委員会で検討いたしました。公聴活動は、町民の意志を反映した教育行政を推進するために大切なことでもありますので、今後も町民の方々からの意見や要望等をしっかりお聞きし、また教育行政の施策の広報に今後も積極的に取り組んで行いたいと考えております。

また、教育委員会及び学校・園の取組を紹介した「里ちゃんだより」(※資料5)を年3回発行し、町内全戸へ配付しました。

## 2 教育委員会が管理執行する事務

### (1) 基本的・総務的事務

教育行政重点施策(※資料6)の策定など基本方針の多くは、事務局に原案や資料を提出させ、教育委員会として慎重に審議することができています。

教育関係予算については、各校(園)等の要望を聞き、教育長等が町長へ交渉し、教育委員会としての意見を尊重した議案が議会へ上程されるよう努めています。

従来から当町の教育予算の比率は高く、教育が重要視されています。教育予算策定の話し合いにもっと時間をかけ、里庄町の教育がより充実するようにしたいと考えています。

### (2) 人的管理に属する事務

町立小中学校の校長等の任免について県教育委員会に対して内申を行っていますが、今後も慎重に行っていきたいと考えています。文化財保護委員等各種委員の委嘱または任免は、教育委員会で議決しています。人的管理に属する事務については、県教育委員会及び町長部局との連携をより密にしていくよう努めてまいります。

学校関係職員の研修は計画的・効果的に実施され成果が上がっています。事務局職員の研修は日々の研修と県教育委員会や町長部局に委ねている研修があり、今後も充実させていく必要があります。

また今年度も、外部人材の活用や支援員等の配置、中学校における部活動休養日の設定、夏季休業中の学校完全閉庁期間(8月13日～15日)を設定、幼稚園・小中学校への「自動音声対応電話の導入」など、学校現場における働き方改革に向けて、具体的な取り組みを実施しました。

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

### (1) 学校教育

小・中学校の全国学力・学力状況調査の結果は、概ね全国平均のレベルにあります。町としての学力向上の方針を示し、各学校も学校としての学力向上策を定めて鋭意努力しています。

教育委員会としても、学力向上を図るためソフト面やハード面の予算を措置し、また、町内の幼稚園、小中学校の教育職員等を対象に、夏季休業中に教職員研修会を行

いました。

いじめ・不登校の解消に向けては、引き続き町をあげて重点的に取り組みましたが、登校できにくい児童・生徒が複数名います。教育アドバイザーやスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、浅口市にある「浅口大簡塾（適応指導教室）」を、浅口市と協定を結び利用可能にする等、今後も継続して解消を目指して取り組んでまいります。

小学校の通常学級に在籍している発達障害のある児童は、日常生活での様々な場面で困難さを感じています。その解消のため、児童が在籍している小学校での指導を行うとともに、浅口市立六条院小学校内にある「あすなる教室」を、浅口市と協定を結び利用可能にすることで、一人ひとりの児童に応じた個別の支援が受けられるようにしました。そうすることで、学習の不安や友達関係やコミュニケーション面の不安を解消し、感情のコントロールの仕方等を身につけていきます。

少子化の進行などを背景に、子どもの育ちが大きく変化しており、様々な要因から小学校の生活になじめないことも見受けられます。里庄町では、保幼小接続スタンダードを作成し、保育園、幼稚園、小学校が歩調を合わせ、幼児教育と小学校教育を円滑に接続し、子どもの育ちと学びを滑らかにつなげる努力をしています。

子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上に努め、グローバルな人材の育成を目的とした英語指導助手については、町の財政面等を考慮した意見があることなどを踏まえ、自治体国際化協会「JETプログラム」からの派遣を要望し、平成31年度から、従来の民間派遣の1名と併せて3名での体制に変更します。

子どもたちが安心して学習や学校生活を送れるように、幼稚園、小・中学校に生活支援員を配置しています。東小学校8人・西小学校に9人、中学校3人、そして東幼稚園2人、西幼稚園に3人で、落ち着いた学習環境が確保され、十分な成果を上げています。また、小学校から中学校1年生への進級にあたり中1ギャップを解消するため、小中連携支援員を2人、引き続き配置しました。

特別支援教育については、特別支援学級・通常学級において指導の充実を図っています。具体的には、町の教育相談員が学校の要請により学校を訪問し、具体的な指導方法について支援しています。また、生活支援員を対象に特別支援教育の理解を目的として、研修会を年間2回実施しています。

里庄町では、学校給食は子どもたちの体や心を育てるのに重要なものであり、食事は人づくりの上でとても大切なこととして、学校給食に力を入れてきています。自校給食食堂を実施し、小学校ではできたての給食をファミリー形態で食べています。

小・中学校の耐震化・大規模改修工事は平成19年度末で完了しており、平成27年度には西小学校の非構造部材耐震補強工事を、平成28年度には小・中学校の屋根防水工事を、平成29年度には小・中学校の教室への空調設置工事の設計を行い、平成30年度には、小中学校施設空調整備工事を実施し、普通教室、特別教室等にエアコンを設置、更新することで、安全・安心な学習環境が確保されております。

## (2) 社会教育

町民のニーズに応じた各種講座を開設しており、多くの町民が文化活動を通して生きる喜びを感じ、自己実現を図っています。今後も、企画運営を受講者自身が行う講座となるよう、一層の充実に努めます。

岡山県が制定した11月1日の「教育の日」に関連し、「里庄町教育を考えるつどい」において講演会を開催、小学校入学前の就学時健診時と中学校入学前の入学説明会の際に子育て講座、保護者同士が共通の悩みをお互い考える、議論し合う講座などを開講し、家庭教育について研修する機会を設け、啓発を行いました。

平成28年度から始めた、学校の授業だけでなく、子どもたちが自ら学び体験することで生きる力を育み、地域全体で子どもを育てていく事を目的とする「さとしょう未来塾」事業も3年目となりました。自学自習を基本とした学習に取り組む「里ちゃん寺子屋」と体験を通じて子どもたちが「生きる力」を身につける「里ちゃんチャレンジ・ワールド」の2本の柱で実施し、地元地域の方々や企業の協力を得ながら、地域の子どもは地域で育てる事をコンセプトに取り組みました。1回限りではなく、年間を通しての事業になるように検討・工夫を行いました。(※資料7)

町立図書館は、順調に蔵書数を増やし、平成30年度末に15万1千冊余りになるとともに、町民に親しまれる図書館を目指しております。平成30年度の開館日数は277日、来館者は6万8千人余りにのぼり、約2万人の方に約7万6千点を貸出し、県立図書館や高梁川流域7市3町の図書館相互利用等、生涯学習の拠点施設として、町内外から好評をいただいております。

本年度、子どもたちが喜んで、本と親しめる環境づくりと、乳幼児と親子が安心して利用できる場所を提供するため「おはなしの部屋」を新設し、親子が読みたい本を自由に手にして読むことや、読み聞かせることで、読書の習慣づけができる環境を整備しました。

また、佐藤清明資料保存会の活動拠点(事務局)となっており、年間を通して「清明研究会」や「清明を読む会」などの活動に取り組んでいます。

男女共同参画社会の推進等、人権意識の高揚に関する講座や行事は、概ね計画通り実施できました。今後も事業の改善を進めながら、状況の変化に適切に対応していく予定です。(※資料8)

文化の振興に関しては、総合文化ホール「フロイデ」や福社会館、中央公民館などを有効に活用し、町民自らの活力や、行政と町民との協働によって、得られるエネルギーを生かしながら、町民のニーズと本町の実情に合った事業を展開してきました。その結果、幅広く町民の参加が得られ多くの成果をあげることができました。その一方で、施設の老朽化など、課題もあり一層の改善、充実に努める必要があります。

歴史民俗資料館では、仁科・小川両博士関係の遺品や、大原焼、麦稗真田関係の物、一般民具や昔から伝わっている農機具などの展示、公開をしており、今後遺跡等の展示品増加に向けての対応を行う必要があります。

文化財保護委員会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の指定・解除、保存及び活用に関し必要な事項を調査・研究し、教育委員会に答申しています。町内だけではなく町外の文化財研究にも力を注ぎ、保護委員会や研修を行っています。

スポーツの振興については、「つばきの丘運動公園」多目的グラウンドや野球場、テニス場などのスポーツ施設や学校施設を活用して、多くの町民がスポーツを楽しみながら健康の増進を図っています。グラウンドゴルフやソフトバレーボールなどのニュースポーツの普及促進を進めた結果、大会に多数の参加者があり、また、地域や各種団体でも行われるようになっていきます。

青少年を対象にしたスポーツでは、小・中学生対象の柔道・剣道スポーツ教室、少年野球クラブ、少年サッカークラブなどの活動が盛んです。

厚生体育大会は、台風の影響により中止となりましたが、準備の段階において、各分館や幼稚園・小・中学校、各種団体の積極的なご協力をいただくことができました。

体力づくりふれあいマラソン大会では、小中学校の協力を得て、徐々に参加者が増え、特に親子の部にも多くの参加者がありました。また、中学生のボランティアによるマラソンコースの清掃奉仕活動があり、競技だけではなく、側面から力をいただきました。

「町民一人一スポーツ」の目標達成を掲げ、誰でも・どこでも・いつでもスポーツができる環境を整備し、健康づくり・生きがいがづくり・地域の絆づくりなどにスポーツが利用されることを願っています。

#### IV 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項に基づき、元公立小学校長平野尚哉氏に点検及び評価に関する助言及び意見をいただきました。

「現在の里庄町教育行政について、それぞれの立場で、その特色を活かした教育行政が行われ、概ね良好な運営がなされているように考えている。しかしながら、少子高齢化が進む中で、各校園の管理・運営状況が、地域と深くかかわる認識が十分にできているか疑問がある。社会情勢の変化が適切に学校経営に反映されているのか、点検が必要であると考える。

また、歴史民俗資料館の活用促進を目指した、管理・運営（開館日を含む）の再検討が必要ではないかと思う。町外から引っ越された方が増加する状況で、里庄町の歴史について理解していただく場所として環境を整える必要がある。

教育委員会事務局体制について、事務処理の効率化が十分図られているとは言い難く多様な要望、意見などに適切に対応しながら効果的な教育行政の実現に向けた一層の努力が求められている。今後も課題、要望、意見の改善に努め行政に反映させてもらいたい。」との意見をいただきました。

里庄町社会教育委員に点検及び評価に関する助言及び意見をいただきました。

「平成28年度から取り組んでいる『さとしょう未来塾』事業について「昨年とは違うチャレンジ事業に参加し、町内2つの小学校児童が、中学校進学前に友達になれる事業」として、今後も継続をして欲しい。要望として、未来塾事業以外にも町内2校と一緒に参加できる事業の実施を検討してもらいたい。

「里ちゃんだより」の発行について、年間3回であるが、町民の方々に関心を持ってもらえる良い機会であり、継続してもらいたい。

小学校行事において、新1年生時にある「給食参観日」は、ファミリー給食になじみのない保護者にとって、子どもたちの様子がわかる良い機会になっている。

行政から町民に提供される「ゆりかごから墓場にいたる」幅広い行政サービスの中、教育委員会が受け持つ範囲の広さに驚かされた。重点的に未来を担う子どもたちへの取組を充実させようとしている点は評価するべきと考える。

成人を対象とした領域で、各種の研修会が適切に実施されています。研修会の実施形態について、ほとんどが「町民が中央に出かける」形態になっているが、教委（役場）が地域（分館）に出かける事も必要ではないかと考える。地域代表が地域の方々へ伝える機会をつくることは難題で、町民まで届きにくい現状がある。地域で開催すれば、動員とはなるが、幅広い層の方々の参加が期待できる」との意見をいただきました。

## V 終わりに

平成30年度の本町教育委員会事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、学識経験者及び社会教育委員の助言及び意見などをいただき報告いたしました。

今後も教育委員自らが点検及び評価をし、教育委員会を充実させ、教育委員会が町民にとって身近になるよう努力し、町民に支えられた、町民のための教育行政が展開できる教育委員会になるよう、引き続き努力したいと考えております。

資料 1

平成30年度教育委員会会議

(1) 定例会

|               |               |           |           |
|---------------|---------------|-----------|-----------|
| H30. 4月18日(水) | 5月23日(水)      | 6月27日(水)  | 7月25日(水)  |
| 8月22日(水)      | 10月 3日(水)     | 10月24日(水) | 11月19日(月) |
| 12月19日(水)     | H31. 1月30日(水) | 2月27日(水)  | 3月12日(水)  |

(2) 臨時会

|               |          |  |  |
|---------------|----------|--|--|
| H30. 4月 2日(月) | 7月18日(水) |  |  |
|---------------|----------|--|--|

資料 2

一日学校公開アンケート結果(感想一部抜粋)

幼稚園

- ・先生の話がしっかりと聞けていた。
- ・挨拶がきちんとできていた。
- ・現在の幼稚園が実施している取組が分かり、来年度入園が楽しみ。
- ・親を見つけても友達と遊べていた。

小学校

- ・毎年孫達の成長ぶりを見て感動した。
- ・温かい雰囲気、先生も子ども達も素敵でした。
- ・参加日と違い、自由に出入りでき、平日に来られない家族も来られて良かった。
- ・美しい学校で良かった。

中学校

- ・落ち着いて授業に取り組んでいて安心した。
- ・生き生きと元気があり、気持ちが明るくなったように思う。
- ・生徒に対する先生の熱意が十分伝わってきました。
- ・校舎内の美化がきちんとできていた。

## 教育委員が出席した主な研修会等

|                 |  |             |
|-----------------|--|-------------|
| 5月 7日(月)        | 岡山市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会<br>・説明「人権教育の推進について」<br>・講演「部落差別をこえて～取材ノートから～」<br>講師中央大学経済学部客員講師<br>臼井 敏男 氏 | 岡山県総合教育センター |
| 9月25日(火)～26日(水) | 里庄町教育委員会県外視察研修<br>・テーマ 学力向上と地域連携<br>25日 今治市立波方小学校<br>26日 松山市立道後中学校                               | 愛媛県松山市・今治市  |
| 11月 6日(火)       | 岡山市町村教育委員会連絡協議会研修会<br>・学力向上対策<br>・運動部活動のあり方<br>・特別支援教育の推進  | ライフパーク倉敷    |

## 資料 4

## 教育委員が出席した主な行事等

|                  |                                  |
|------------------|----------------------------------|
| 30年 4月 2日(月)     | 新任教職員着任式                         |
| 4月 9日(月)         | 小学校入学式                           |
| 4月10日(火)         | 中学校入学式                           |
| 4月11日(水)         | 幼稚園入園式                           |
| 5月19日(土)         | 幼稚園・小学校運動会                       |
| 5月30日(水)         | 教育委員学校訪問                         |
| 6月 9日(土)         | 小川賞授与式                           |
| 8月15日(水)         | 平和記念式典・戦没者盆供養                    |
| 8月18日(土)         | 理化学研究所里庄セミナー                     |
| 9月 2日(日)         | 仁科芳雄博士顕彰 ロボット・コンテスト2018          |
| 9月11日(火)         | 中学校体育会                           |
| 10月19日(金)        | 第10回備中地区社会教育実践研究交流大会             |
| 10月27日(土)        | 青少年健全育成「未来の会」総会・第18回里庄町教育を考えるつどい |
| 11月10日(土)        | 1日学校公開                           |
| 11月16日(金) 22日(木) | 西(16日)・東(22日)小学校学芸会              |
| 12月 6日(木)        | 仁科賞授与式                           |
| 12月 7日(金)        | 仁科芳雄博士誕生日記念科学講演会                 |
| 12月12日(水)        | 東・西幼稚園生活発表会                      |
| 31年 1月13日(日)     | 成人式記念式典                          |
| 2月 1日(金)         | 第50回里庄町立志式                       |
| 2月17日(日)         | 第38回里庄町体力づくりふれあいマラソン大会           |
| 2月28日(木)         | 仁科芳雄賞授与式                         |
| 3月12日(火)         | 中学校卒業式                           |
| 3月15日(金)         | 古山賞授与式                           |
| 3月19日(火)         | 小学校卒業式                           |
| 3月20日(水)         | 幼稚園卒業式                           |

# 里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、平素より何かと大変お世話になっておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

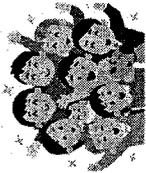
さて、里庄町では、「未来を拓く人づくりと文化活動の展開」を基本目標として、教育行政の推進を図っています。里庄町の次代を担う人づくりを推進するためには、学校、家庭、地域が一体となって取り組むことが大切です。また、大人も子どもも夢や目標に向かって、いきいきと生活できるように、地域に根ざした、文化、芸術、スポーツ等を生涯にわたって学び、楽しむことができ環境づくりを進めてまいります。

学校や幼稚園においては、落ち着いた集団生活の中で、一人ひとりの子どもたちが自分のよさを伸ばしたり、友達とのよさに気づいたりできるように指導することが大事であると考えています。そのためにも、何よりも子どもたちの頑張りをききと見ることができ、確かに認めることのできる指導者でなくてはならないと考えています。教職員の活躍と子どもたちの健やかな成長を願い、町民の皆様方の今後とものご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 里庄町の教育目標 (平成30年度)

### 「未来を拓く人づくりと文化活動の展開」

- 1 生きる力を育む学校教育の推進
  - ・学校教育「豊かな学力」「豊かな心」「健やかな体」  
認めること、落ち着いた集団の確立、主体性の育成、授業改善
  - ・学校給食、基礎・基本の徹底、あいさつ
  - ・言語活動の充実による表現力の育成  
(論理的に書く力、コミュニケーション力)
  - ・家庭教育(認めること、基本的な生活習慣、しつけ、あいさつ、家庭学習)
  - ・地域の人々との連携
- 2 心豊かで生きがいを感じる生涯学習の推進
  - ・地域社会の教育力の向上、地域人材の活用
  - ・町民との協働によるまちづくり活動の推進
- 3 やすらぎとうるおいを感じる芸術・文化の振興
  - ・先人の偉業に学び、地域に受け継がれてきた伝統・文化の伝承
  - ・町民の主体的な文化活動と世代を超えての人々の交流
- 4 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の振興
  - ・スポーツ・レクリエーション活動の推進
  - ・スポーツ指導者の養成
- 5 異なる国や地域・人との交流活動の推進
  - ・幼稚園・小・中学校における、国際理解教育・英語活動の推進
  - ・国際交流事業の推進を通じて、世界の人々との友好親善の精神を育成



## 平成30年度 里庄町教育委員会 学校教育の取り組みについて

里庄町教育委員会では、町内の園児・児童・生徒が落ちついた環境の中で、自分のよいところをもっと伸ばしていけるように、平成30年度は、次のような取り組みを行います。

### 1 「卒業時期の育てたい子どもの姿」を明確にした取り組み

幼児期(保幼)、学童期(小)、思春期(中)のそれぞれの卒業時期の「育てたい子どもの姿」を踏まえ、里庄町全体の「育てたい子どもの姿」について教職員が共通理解を図り、保育や教育を進めます。今年度は、この「育てたい子どもの姿」を設定します。

### 2 「保幼小・接続カリキュラム」の取り組み

幼児期は、子どもたちが健やかに育ち、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期です。生活や遊びの中での直接的・間接的な体験を通して、よりよく社会で生きていくための基礎となる力を獲得していく時期になります。また、児童期は、子どもたち一人ひとりがもっている能力を伸ばすとともに、社会において自立的に生きるための基礎を培い、社会の一員としての基礎的な資質を養う時期です。この2つの時期を円滑に接続し、子どもたちのよりよい成長を目指します。

### 3 「里庄町明るい学校づくり」の取り組み

学校が全ての児童生徒にとって、より明るく楽しい場になるような居場所づくりを行うと共に、友達同士や教師との良好な関係づくりを進めます。それにより、良好な人間関係をつくる力や、社会に進んで参画する力を伸ばすことを目指します。中学校卒業までを見通して取り組みます。

指導主事 天野 正彦

## スマートフォン・ゲームの適切な利用についてのお願い

子どもたちが、スマートフォンやゲームを長時間する中で、ネット上のいじめや犯罪被害等につながるケースが、大きな問題となっています。また、健康面の心配や学習時間の減少も指摘されています。里庄町では、統一ルールとして、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。

子どもを守るには、社会の大人全体の責任です。さらに、子どもの一番身近にいる大人は、保護者の皆様です。保護者の責務として、家庭内のルール作りをお願いいたします。ご家庭で、お子様としっかり話し合って、子どもも納得するルール作りを進めてください。

※各家庭での徹底をお願いいたします。 指導主事 天野 正彦

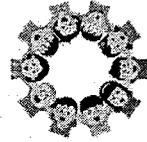
## 教育相談日のお知らせ

|     |  |
|-----|--|
| 日 時 | 毎週 月曜日・火曜日・水曜日 (原則)                              |
| 場 所 | 午前9:00~12:00 午後1:00~5:00<br>「里庄むつみ会館」(里庄町里見1004) |

相談を希望される方は教育委員会事務局(0865-64-7212)まで(ご希望日時が重なった場合、調整させていただきます。)

担当者 教育相談員 栗尾康子

子育てで悩んでいることがありましたら、お気軽にご相談ください。

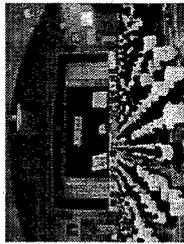


裏面に続く

## 自己肯定感を高める集団づくりの取り組み

里庄中学校長 田原 直樹

平成30年度は、1年生98名、2年生93名、3年生93名の計284名、11学級でスタートしています。里庄中学校は、創立以来70年に渡ってJRC(青少年赤十字)に加盟し、その理念を取り入れた教育を推進しています。「2分前行動ができる」「はきものをそろえることができる」「あいさつができる」などの素晴らしい伝統をもつ学校です。今年度も、昨年度に引き続き、生徒の自己肯定感を高めることを目指して、「授業づくり」と「集団づくり」を研究の2本柱とし、学校教育目標である「心豊かに学ぶ生徒の育成」を目指していきます。



JRC 登録式



授業研究

### 【魅力ある授業づくり】

- ・どの生徒も授業の中で、「分かった」「できた」を体感できる授業を目指します。

### ・パソコンや実物投影機等のICT(情報機器)を効果的に使うことで、生徒の興味・関心を高めていきます。

- ・授業の中に、アクティブラーニングの手法を積極的に取り入れ、自ら進んで、友達と協力して学ぶ活動を推進します。

### 【自己肯定感を高める集団づくり】

- ・どの生徒も学校生活の中で、お互いを認め合い、高め合える集団を目指します。



SELの授業

- ・学級活動や総合的な学習等の時間を利用して、SEL(社会性と情動の学習)の手法を取り入れた学習を進めています。

また、今年度生徒会は、2年前から取り組んでいる「里中3つの誇りプロジェクト」をさらに進化させ、「ワンダフル里中生 ～4つの誇り～」をスローガンとしました。

- ① あいさつができる
- ② 美化(掃除)がきちんとできる
- ③ 2分前着席(時間が守れる)
- ④ 正しい判断ができる

これからは、この4つの重点目標を全校生徒で実践し、新たな伝説を築いていきます。さらに、中学生も里庄町民の一員として、町の行事等へも貢献できるようにしたいと考えています。昨年度の2月には、里庄町マラソン大会を盛り上げる取組として、中学生ボランティアを募り、マラソンコースの清掃活動を行いました。今年度も厚生体育大会をはじめ、様々な行事にも地域の皆様のご支援をいただきながら積極的に参加していきたいと考えています。

## 心豊かでたくましい里見っ子の育成のために

里庄東小学校・東幼稚園長 今井 豊

平成30年度の里庄東小学校は、287名、14学級でスタートしました。子どもたちは、新しいクラスにも慣れ、運動会では、友達と力を合わせて、息の合った演技をするこどができました。本年度も、6年生が手本となって、「めざす児童像」の「進んで学ぶ子」「元気な子」「助け合う子」の3つを目指します。具体的には、次の通りです。

### (1)進んで学ぶ子

- 表現力の向上(聞く・話す・書く活動で) ○基礎・基本の定着(振り返り・反復練習で)
- 思考の深まりと充実感(工夫・適切な支援で) ○家庭学習の充実(学校・家庭の連携で)

### (2)元気な子

- 進んで運動 ○生活習慣づくり ○体力の向上への意欲 ○健康増進への意欲

### (3)助け合う子

- あいさつ ○気持ちを考える ○よさを認める ○人を大切にする ○温かい言動

東幼稚園は、本年度くま組・りす組合わせて49名です。幼稚園においても、(1)元気なこども(2)がんばるこども(3)やさしいこども(4)かんがえるこどもをめざして、頑張りたいと思います。小学校の学びの土台となる関心や意欲を、遊びを中心とした活動の中で育てていきます。

本年度も、町民の皆様が温かいご支援と見守りをいただきながら、里見の子をよりよく育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 里西っ子の「生きる力」を育てる

里庄西小学校・西幼稚園長 松原 修

西小学校は全校児童350人でスタートしました。「切磋琢磨」の校訓と、教育目標「里西っ子の生きる力を育てる」のもと、「よく考え進んで学ぶ」「仲良く助け合う」「明るく元気」「知・徳・体のバランスのとれた子ども」の育成を目指しています。生活規律や学習規律を整えながら落ち着いた学習環境を保持し、具体的には次のことを重点に、PTA、地域、町内小中学校と連携しながら取り組みを進めていきます。

- (1)「よく考えて進んで学ぶ子ども」を育てるために
  - 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じる魅力ある授業づくり
  - 基礎・基本の徹底 ○伝え合う活動の充実で表現力を育成
  - 学習規律の徹底 ○意欲的に進める家庭学習の充実
- (2)「仲良く助け合う子ども」を育てるために
  - 人・時間・協働を大切にする生徒指導等 ○道徳指導の充実
  - 認めて伸ばし自己肯定感を育む学校行事等
- (3)「明るく元気な子ども」を育てるために
  - 体力づくりの推進と学校安全の強化 ○基本的生活習慣の定着
  - 食卓給食の充実と食育の推進



意欲的に学ぶこどもたち



運動会の幼稚園演技

西幼稚園の園児数は46名です。小学校と一貫した教育目標を設定し、遊びを通して「意欲をもってがんばる子」「思いやりのある子」「元気な子」を育てます。また、保幼小接続プログラムに沿って小学校への円滑で発展的な接続を図っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 里ちゃんだより



里庄町教育委員会

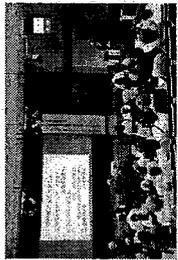
電話 0865-64-7212

## 教育長あいさつ

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になりました。先日の教育を考えるつどいでは、多くの方々に参加をいただき、誠にありがとうございました。「地域とともにある学校」～これからの里庄町の学校について考えてみませんか?～と題して、講師の方にご講演をいただきました。その中で、学校が力を発揮しながら、保護者の皆様地域の皆様のお力をいただき、地域の宝である子どもたちを育ていくことの大切さを教えていただきました。

今後とも皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、学校教育・生涯学習のさらなる推進を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



教育を考えるつどいの様子

## 里庄町の子どもの学力は? (全国、岡山県学力・学習状況調査の結果より)

全国学力・学習状況調査(小学6年生、中学3年生)全体としては、ここ数年、全国平均と比べてよい年もあれば、やや低い年もあり、特に大きく心配する状況は見られません。これからも、一人ひとりの子どもたちもがもっている力を、さらに伸ばしていくことが大切だと考えています。

岡山県学力・学習状況調査(小学3年生～5年生、中学1年生～2年生)では、小学校は、国語は県平均と同程度でした。算数は県平均を上回りました。中学校は、国語は県平均と同程度を上回りました。数学はどちらの学年も県平均より上回りました。英語も県平均より上回りました。

今後も、子どもたちのよさや頑張りを的確に認め、自己肯定感を育みながら、一人ひとりの子どもたちがもっている力を、さらに伸ばしていくことが大切だと考えています。

○よくできているところ: 漢字・計算など基礎的な内容

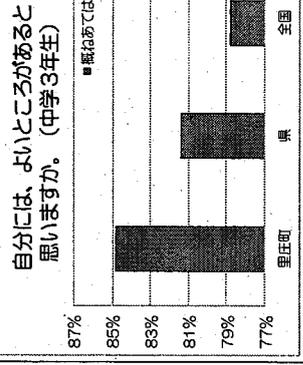
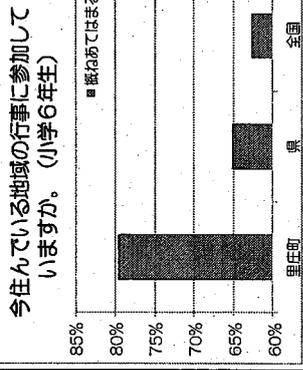
★課題と考えているところ: 目的に応じて文章を書いたり、説明したりすること。

里庄町では小学校と中学校が連携して、学力向上の重点目標を次の3点に決めて、充実を図っています。

①基礎・基本の徹底 ②表現力の育成(書く力) ③家庭学習の充実

今後も、学校・家庭・地域で力を合わせ、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成に全力で取り組んでまいります。  
(文責 指導主事 天野正彦)

## 里庄町の子どものよさは? (全国、岡山県学力・学習状況調査の結果より)



里庄町の小学6年生は、岡山県や全国の子どもと比べて、「今住んでいる地域の行事によく参加している。」と、回答しています。また、里庄町の中学3年生は、「自分には、よいところがあると思う。」と、回答した子どもが多いという結果になりました。地域の行事に参加することで、様々な人と触れあう機会が増えたり、体験活動を増やしたり、社会と自分との関係について考えたりすることができ、また、子どもも自ら学ぶ目的や意義を考え、とても大切なことだと考えています。また、自分のよさに気づいている子どもが多いため、自分に自信を持ち、よさを発揮することで、よりよくなることも増えていきます。さらには、周りの人にも優しく接しながら、自分の生活を豊かにしていくことにも繋げていくことができます。自分自身を高めていくことはもちろんのことですが、周りの人と支え合いながら成長していくことのできる、知徳体のバランスのとれた、たくましい子どもにも育ってほしいと考えています。

＜その他の項目で、全国平均と比べて、町内の小学6年生・中学3年生が

ともにポイント数が高かった内容＞

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

○将来の夢や目標をもっていますか。

(文責 指導主事 天野正彦)

## ～浅口市通級指導教室「あすなろ教室」が利用できるようになります～

10月26日に、浅口市役所で、浅口市通級指導教室「あすなろ教室」の里庄町利用協定調印式が行われました。浅口市通級指導教室「あすなろ教室」とは、集団の中で友達と一緒に活動することが苦手だったり、友だちとのコミュニケーションがうまくとりにくかったり、落ち着きがなく学習に集中できにくかったりする小学生が通う教室です。安心して通える場で、一人ひとりに合わせた指導を受けながら、周りの人とのかかわり方や感情のコントロールの仕方などについて学んでいきます。

この度の調印式を受けて、平成31年4月より、里庄町の児童も本施設を利用できるようになります。「あすなろ教室」に通うことを希望する児童が、本施設での学習や体験活動を通して、自分の長所をしっかりと伸ばしてほしいと願っています。

(文責 指導主事 天野正彦)

## 「書く力」「話す力」を伸ばす指導

教育の今日的課題として、児童が自分の考えを広げたり深めたりすることが求められています。本校児童の現状を分析すると、自分の考えや思い、分かったことなどを筋立てて書く力や、相手に伝わりやすく話す力といった、表現力が十分に身に付いていないと云えます。

このことから、児童の「書く力」と「話す力」の育成が重要であると考え、本校では今年度、国語科を中心にして指導方法を改善する研究に全校をあげて取り組んでいます。研究主題は次のとおりです。

自分の考えを表現できる児童の育成

～国語科の学習を中心に、書く力、話す力の向上を目指して～

### ○取り組んでいること

#### 【国語科の授業で】

- ・児童が目的をもって主体的に学習できるように、単元の学習計画を明確に示す。
- ・書く活動を意図的に設定する。

#### 【国語科の授業以外で】

- ・朝の学習等のドリル学習で、書くことに慣れるようにする。
- ・校内掲示で言語環境を整える。
- ・家庭学習で日記を書くようにする。
- 【学校生活全般で】
- ・学習規律の定着や、家庭学習の充実により、学習習慣が確立できるようにする。
- ・家庭と連携し頑張りカードなどを活用して、基本的な生活習慣を確立できるようにする。



教師同士で授業を見せ合って授業力を高める

(文責 里庄西小学校長 松原 修)

## 「里中生徒会による小学校交通出前講座」開催

里庄町では、以前から小中が連携した様々な取組を行ってきました。その一環として、里中生徒会が作成した交通安全啓発のためのプレゼンテーションを東西の小中学校で開催しました。

まず、10月15日(月)には、里庄東小学校の児童朝礼の中で時間をいただき、里中生徒会の代表者3名が、出前講座を行いました。(里庄西小学校は、10月29日(月)開催。)

3名の代表者は、

- 1 自転車乗車時のヘルメット着用
- 2 交通ルールの確認

について、具体的な写真や提示しながらクイズ形式で分かりやすく説明しました。東小の児童たちも、クイズに積極的に参加し真剣に考え聞いていました。

2年前里庄中学校では、悲しい生徒の交通事故が起きました。その後、2度と辛い思いをする人が出ないようにと、里庄町では小中が連携して学期始めの月を交通安全全月間として、交通安全のほりを立てたり、町内での交通指導をしたりしてきました。

まだまだ、交通マナー等では課題も多く、町内の皆様にはご迷惑をおかけすることも多々あるかとは思いますが、今後も交通安全意識の高揚とマナーの徹底を目指して、小中で連携して進めたいと考えています。

(文責 里庄中学校長 田原直樹)



交通出前講座

## 地域と連携した体験学習の取り組み

里庄中学校長 田原 直樹

里庄中学校では、平成28年度から1・2年生を中心に、朝の会が始まるまでの10分間を使って、山陽新聞のコラム(一滴)の書き写し学習を行っています。これは、コラムをノートに書き写すとともに、内容の要約等を行います。この学習によって、今まで知らなかった言葉や言い回し、様々な表現方法にふれることができます。



書き写し学習の様子

近年、全国学力・学習状況調査等でも、生徒の読解力が落ちていると言われますが、本校では少しずつですが効果が現れています。

また、この学習は集中力を高める効果もあり、落ち着いた雰囲気の中で1時間目の授業を迎えることができている。「継続は力なり。」これからも、より充実した取り組みにしていきたいと思っています。

## 異学年交流の取り組みについて

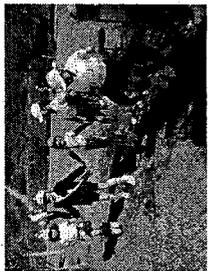
里庄東幼稚園・小学校長 今井 豊

里庄東小学校では、次年度の入学を前に、異年齢での関わりを意図的に設定して、幼稚園児・保育園児と関わっています。先日、竹馬・こま回し・ホッピンゴなどの遊びを、園児は1年生と一緒にを行い、コツを教わりながら仲良く遊んでいました。

また、5年生は園児と「つばきの丘運動公園」にハイキングに行き、自然の中で遊んで交流を深めました。この関係は、次年度には、1年生と6年生という学年になるため、小学校生活が始まった時にも、顔なじみがいて安心できるという効果があります。

こうして、小学生にお世話になることが多い年長さんも、幼稚園に帰ったら、上手に年少さんの世話をしています。つまり立場によって子どもの様子も変わります。

子どもたちのおかれている環境の変化により、意図的に異学年交流の場を設定しないと、その機会はどんどん減っています。ファミリー給食も含め、異年齢での関わりを大切にしたいと思っています。



園児と5年生児童との交流の様子

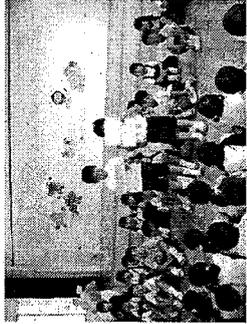
## 保育園児・幼稚園児と小学校児童と交流

里庄西幼稚園・小学校長 松原 修

本校では、1年生と、かすみ保育園・里庄西幼稚園の年長児とが交流会する「なかよし会」が行われています。

本年度は1学期にそれぞれの園を訪問し、国語科で学習した「おおきなかぶ」の劇を発表したり、自分たちで計画した遊びを一緒にしたりしました。2学期には、生活科の学習「あきたんけん」で見付けたものを使って遊ぶ「あきランド」を開き、園児を招待して楽しみました。1年生にとっては、成果の発表の場であり、園児にとっては、小学校の学習にふれ、進学への期待をくくまらせる機会の一つとなっています。

なお、平成30年度から里庄町では、保幼小接続カリキュラムがスタートしました。このカリキュラムは幼児教育と小学校教育相互の良さをつなげ、保育園や幼稚園での「学びの芽生え」から、小学校(主に第1学年)での「自覚的な学び」へと円滑な接続ができるように作成されたものです。里庄西小学校では、かすみ保育園・里庄西幼稚園との接続カリキュラムに沿って進めています。



1学期のなかよし会での園訪問の様子



# 里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

## 「地域の皆様、いつもありがとうございます」

日頃から町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。本年度も、多くの地域の皆様方に、温かいご支援・ご協力をいただきながら、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるように、学校と家庭・地域の連携を強めていきながら、健全育成を図ってまいりました。

学期中は、暑い日も寒い日も各地域で、子どもたちの登下校に合わせて実施している「安全活動」が、防犯・安全活動につきましても、「子ども安全パトロール員」の方々の積極的な、見守りや声かけにより、子どもたちの安全確保に向けた、ご支援・ご協力をいただいております。

3年目を迎えました「さとしよ未来塾」では、地域の方々をはじめ、老人クラブなどの各種団体、町内企業の方々に講師やボランティアとして参加していただき、子どもたちの支援をしていただいております。子どもたちは自学自習やものづくり、様々な体験活動を通じて、地域の方々との連携や、地元地域の良さの理解を深めることができました。

昨年10月27日(土)の「里庄町教育を考えるつどい」では、岡山教育事務所、竹本啓修所長を講師にお招きして、「地域とともにある学校」と題して、地域・学校が一体となって子どもたちと関わっていく大切さについて、専門的な視野から貴重なお話をいただきました。

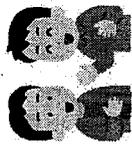
また昨年11月10日(土)の「一日学校公開」では、学校(園)PTAの皆様には、ご来場いただいた地域の方々に対して、手作りのおもてなしなどをさせていただき、ありがたく思っております。地域の方々に、普段の子どもたちの様子を見学していただき、学校(園)への理解を深めていただけたと考えております。

これからも、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、地域の皆様のご支援・ご協力をいただき、学校・家庭・地域との連携を深めていきたくたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をよろしく願っております。(事務局長 小寺 大輔)

## 里庄町「明るい学校づくり」の取り組み

本町では、今年度、小中学校を中心に「明るい学校づくり」の取り組みを進めています。この取り組みは、子どもたちに、「相手の気持ちを考えよう」と、「自分から積極的に友だちと関わろうとする力」を付けることを目標としています。この2つの力を付けるために、それぞれの学校で取り組みを考え、実践しています。例えば、気持ちの良い接し方や声かけの仕方、いやな気持ちを伝えさせない対応の仕方等を身に付けることで、子ども

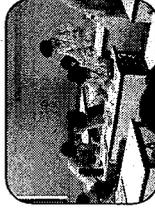
の社会的スキルが高まっています。こうすることで子どもたちの望ましい行動が増え、お互いに認め合う良好な関係がつけられます。来年度は、保育園・幼稚園にも輪を広げ、子どもたちの笑顔あふれる学校、園を目指して取り組みを続けていきます。(文責：天野 正彦)



## 「さとしよ未来塾」について

里庄町の子どもたちの健やかな成長を里庄町の大人が応援するのが、「さとしよ未来塾」です。3年目になる未来塾ですが、本年度も多くのの方々にお世話になり、自学自習「里ちゃん寺子屋」と体験活動「里ちゃんチャレンジ・ワールド」の事業を実施することができ、たくさんの子どもたちが参加しました。

(文責：教育コーディネーター 武政 寛治)



里ちゃん寺子屋



囲碁教室



絵手紙教室



ロゲイニング

## 平成31年成人式 ～感謝の気持ちを新たに～

里庄町では、これからの里庄町を担う新成人が晴れて成人の日を迎えられたことを祝い、また、成人としての責任や義務を自覚する機会となるよう、毎年成人式を開催しています。今年度は、1月13日(日)に実施し、89名の新成人が参加しました。

式典では、新成人代表者が「平成最後の成人式出席者の責務として、大人として歩む一歩を、全力で踏み出して参ります。」と支えてくれた方々への感謝を込めて述べました。

式典終了後に行われた交歓会では、旧友との再会に加え、小中学生当時の先生方をお招きし、これまでのことや、これからのことなど、かつつの関係性そのままに、話に花を咲かせていただきました。新成人の皆様のご健勝と、一層のご活躍をお祈り申し上げます。(文責：山下 直人)



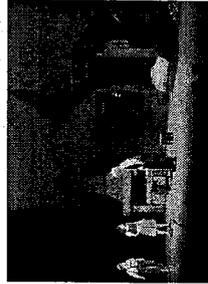
成人式の様子



交歓会の様子

## 夏休み子ども劇場 「アルプスの少女ハイジ」

夏休み期間中の8月21日(火)に、里庄総合文化ホール「フロイデ」自主事業として、大ホールでミュージカルの上演を行いました。演目は「アルプスの少女ハイジ」で、愛と友情の大切さ、生きていることの喜びを思い出させてくれるミュージカルです。里庄町や、周辺の市町村にお住まいの子どもたちにも、夏休みの良い思い出をつくってもらうとともに、親子のふれあいや、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的に実施し、当日は、町内外から763名の方にお越しいただきました。逆光にもめげず、どんな環境におかれても素直に、そして純真で明るく行動するハイジの生き方は、子どもたちにももちろん、保護者の方々にも感動していただけるものとなりました。(文責：山下 直人)



公演中の様子

## ～スマートフォン・ゲームの適切な利用について～

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

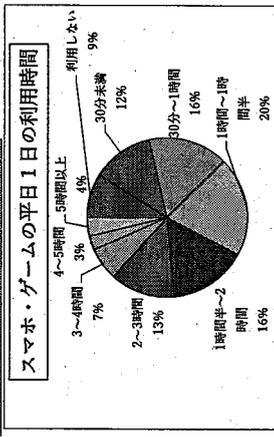
里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。特に進級や進学する時に、スマートフォンやゲームを持ち始めることも多いと聞いています。子どもたちが、安全で、安心して毎日の暮らしができますように、皆様のご理解とご協力をよろしく願っています。  
(教育長 杉本 秀樹)

## 里庄町の子どもの様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

里庄町教育委員会では、平成30年度に2回、町内小学校4年生から中学校3年生までの児童、生徒にスマートフォン・ゲームの使用方について実態調査を行いました。平成31年2月の結果の中から、2つを紹介します。

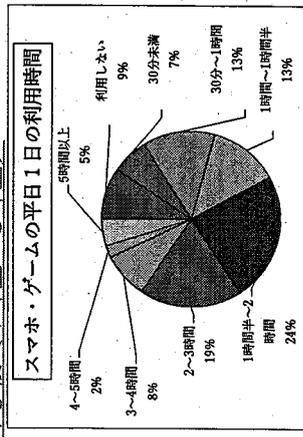
子どもを守るのは、社会の大人全体の責任です。子どもが一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組みましょう。特に中学生になると、9時以降のルールが守りにくくなる傾向があるようです。**ご家庭で、お子様としっかり話し合って、子どもも納得するルール作りを進めてください。**  
(文責：天野 正彦)

### 小学校（4年生～6年生）



1日2時間以上利用している子どもが約3割弱

### 中学校（1年生～3年生）



1日2時間以上利用している子どもが約3割強

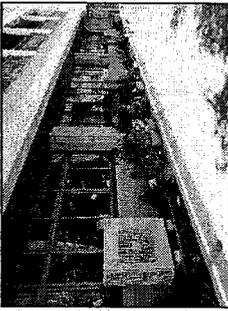
## ～快適で豊かな学校施設を目指して～

学校等施設は未来を担う子どもたちが集い、一日の大半を過ごす学び・生活の場です。また、地域住民にとっては生涯にわたる学習や文化・スポーツなどの活動の場となり、有事の際には避難生活のよりどころとしての重要な役割も果たします。

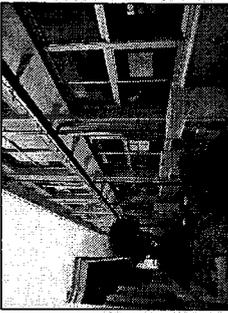
施設を長期にわたり活用していくために、教育委員会では学校等施設における今後の整備内容や時期、費用等を具体的に表した中長期的な計画、また限られた財源や人員の中でトータルコストの縮減や、予算等の平準化を図りつつ、学校等の施設に求められる機能や性能を確保するため、本年度、公立幼稚園・小学校・中学校施設における個別施設計画を策定しました。

この計画に基づき、学校等の室内外における機能・性能・質的環境の向上を図る総合的かつ機能的な施設環境を整えていきます。

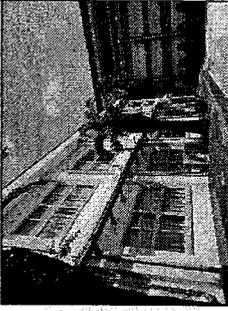
今後も引き続き、子どもたちが、生き生きと落ち着いて過ごすことのできる、快適で居心地のよい教育環境づくりを進めていきます。



里庄東小学校空調整備

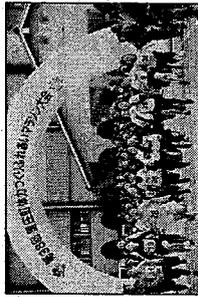


里庄西小学校空調整備



里庄中学校空調整備

## 第38回里庄町体力づくりふれあいマラソン大会



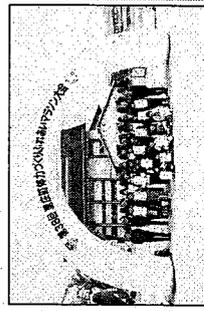
元気にスタート

里庄町体力づくりふれあいマラソン大会は、町民の方々の健康づくりを推進するとともに、町民同士の親睦や、親子の絆を深め、里庄町が健康で明るいまちとなることを目指して、毎年2月に開催しています。第38回目となる今大会は、平成31年2月17日（日）に実施し、小学生の部から一般の部までのマラソン7部門と、ジョギングの部に分かれ、455人のランナーが、ふるさと里庄の風を感じながらそれぞれ自分のペースでペーストを尽くしました。

当日は晴天で暖かく、選手以外にも多くの方々に来ていただくことができました。一生懸命ゴールへ向かうランナーや、それを大きな声で応援する家族や友人の姿は、見る人に感動を与え、体だけでなく心も健康にすることができた大会となりました。

「第38回里庄町体力づくりふれあい健康マラソン大会」を支えてくださったスタッフ及びボランティアの方々、並びに町民の皆様方に心よりお礼を申し上げますとともに、今後も引き続き協力くださいますようお願いいたします。

(文責：山下 直人)



入賞者のみなさん

## 里庄町教育委員会の最重点施策

### ○ 学校教育の安定と充実

#### 1. 落ち着いた集団づくり

- ・ 基本的な生活習慣
- ・ 生活規律、学習規律の徹底（あいさつ、そうじ、はきもの、話の聴き方）
- ・ ハイパーQ U検査（小1から中3まで年2回の実施）
- ・ 生活支援員の配置（幼小中で計22名）・小中連携支援員（2名）
- ・ 教育相談員及び教育アドバイザーの配置
- ・ 明るい学校づくり研修会の実施
- ・ 家庭教育との連携（里ちゃんだよりの発行、親学研修、教育講演会）

#### 2. 確かな学力をつける

- ・ 1時間1時間の授業を大切に（授業改善の推進）
- ・ 全国及び県の学力調査の有効活用
- ・ 小中連携の取り組み

##### ※ 里庄町の学力向上の重点目標

小中連携による落ち着いた学習環境づくりと学習意欲を高めるための授業改善

##### ① 基礎基本の徹底

##### ② 言語活動の充実による表現力の育成（論理的に書く力・コミュニケーション力）

##### ③ 家庭学習の充実（復習・予習を意識して 手引きの活用、生活時間調査）

※相互授業参観、出前授業、体験授業の実施、合同研修会（幼稚園含む）

- ・ 反復学習と補充学習

※朝の学習、帰りの会、放課後学習サポート事業、サマースクールの実施

#### 3. 豊かな心、豊かな人間性の育成

- ・ 人権教育、道徳教育の推進
- ・ 家庭・地域との連携、ふるさと里庄町への郷土愛を育てる  
立志式の実施、里庄まこもだけの学習、地域偉人の学習
- ・ 生涯学習との連携（さとしょう未来塾）
- ・ 食堂給食の推進と活用

## ○ 社会教育の充実

- ・ さとしょう未来塾（里ちゃん寺子屋、里庄チャレンジ・ワールド）を開設（暁天座禅 地元企業や国際交流協会との共催事業、陶芸教室、科学教室、じゃがいも栽培、地域の方々との共催事業等）
- ・ 子どもに豊かな心や科学的素養が育つ環境や機会を提供（仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会、柔道・剣道スポーツ教室、野球・サッカースポーツ少年団、立志式、学童グラウンドゴルフ教室交流会 等）

## ○ 家庭教育の充実

- ・ 小学校就学時健康診断や中学校入学説明会時に、子育て講座（親育ちの研修）を開催
- ・ 保護者同士が、子育てに共通する悩みを共に考える講座（子育て未来塾）を開催
- ・ 家庭と地域と学校が連携し、子どもを育むことについて考える「里庄町教育を考えるつどい」を開催
- ・ 町内の学校、園の様を広く知ってもらうため「一日学校公開」を開催

## さとしょう未来塾

## ○ 里ちゃん寺子屋事業 参加人数

|      |     |     |      |     |     |     |     |     |
|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 第 1回 | 5月  | 16人 | 第 2回 | 6月  | 15人 | 第3回 | 7月  | 中止  |
| 第 4回 | 8月  | 13人 | 第 5回 | 9月  | 14人 | 第6回 | 10月 | 中止  |
| 第 7回 | 11月 | 11人 | 第 8回 | 12月 | 16人 | 第9回 | 1月  | 12人 |
| 第10回 | 2月  | 13人 | 第11回 | 3月  | 13人 |     |     |     |

参加者 小学校4年生から6年生 17人

指導ボランティア 6人 (高校生2人 町内一般成人4人)

1回あたり平均参加者 13人

## ○ 里ちゃんチャレンジ・ワールド 参加人数 (指導者等含む・複数回数実施は延べ人数)

じゃがいも栽培 18人 (年間4回実施) 囲碁教室 7人 (毎月1回)

暁天座禅 372人 (連続4日間)

絵手紙教室 8人

ハロウィン・パーティー (国際交流協会共催) 254人

ロゲイニング 44人

土ひねり 49人

ポップアートカード 17人

学童グラウンドゴルフ 46人

ブックスタンド作製 (地元企業共催) 48人

焼き菓子作製 (地元企業共催) 40人

おやつ作り体験 28人

わくわく科学ランド 184人

新春たこあげ大会 (里庄町老人クラブ共催) 60人

はんこ作り教室 40人

人権教育

里庄町人権教育推進委員会 6月29日(金)

総会

研修会

岡山県の人権教育の動向について

啓発映画視聴 「人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか」

里庄町人権教育講座

第1回 8月8日(水)

演題 「子どもシェルターを通して見た子ども達  
～子ども達の居場所に求められるもの虐待・非行の視点で～」

講師 NPO法人子どもシェルターモモ

施設責任者 青野 雅世 氏

第2回 8月20日(月)

演題 「スマホ時代を生き抜く子どもたち」

講師 中国学園大学子ども学部子ども学科

教授 岸 誠一 氏

第3回 8月24日(金)

演題 「発達障害とはどんな障害？—障害と世の中の関わりについて  
考える—」

講師 就実大学教育学部教育心理学科

教授 岡田 信吾 氏

※ 台風接近のため中止